

第66期 中間株主通信

2024.4.1 ▶ 2024.9.30

 セブン工業株式会社

第66期 中間期 経営成績のご報告



株主の皆様には、
日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第66期中間期における我が国経済は、賃上げ政策が徐々に広がりを見せていることもあり、緩やかな回復基調で推移する一方、地政学リスクの高まりから資源価格高騰による物価高が続いております。当社が属する住宅業界におきましても、住宅価格の高騰に加え長期金利の引き上げ、これらに伴う消費マインドの減退等により、特に持ち家の減少傾向が続くなど新設住宅着工戸数は引き続き低水準で推移しています。

このような厳しい事業環境のなか、当社はスローガン「Change & Create New7」のもと、非住宅分野への事業領域拡大や省施工商品の充実化など、時代のニーズに対応した製品開発を進めるとともに、既存製品群の見直しや新たな事業創出を目指す組織の設立など、成長分野への展開を推進してまいりました。

まず内装建材事業においては、早期の黒字化を目指して、販売価格の適正化や原価低減、徹底したムダの排除を進めております。また、協力会社の事業吸収による内製化や、生産性向上に向けた改革を推し進め、収益体質の改善を図ってまいりました。さらに、店舗向けに国産材を活用した商品展開を行うなど、戸建て住宅以外の市場に向けた新たな施策を展開しておりますが、非住宅市場における体制強化や商品拡充には今後も継続的な取り組みが求められます。

木構造事業においては、資材価格高騰の進行と市況の低迷による価格競争の激化が続くなか、プレカット事業・パネル事業・建装事業での三位一体の事業を展開し、非住宅物件の受注拡大や各種省施工商品の拡充を進めてまいりました。特に当期間においては、建装事業における施設建築物件の工事が順調に進捗したこともあり、厳しい事業環境にありながらも堅調な業績を維持することができました。

この結果、売上高は76億54百万円（前年同期比1.6%減）の減収、利益面においては営業利益50百万円、経常利益57百万円、中間純利益は42百万円といずれも増益となりました。

今後も不透明な世界情勢を受け、これに伴う経済リスクが顕在化するなど、予断を許さない状況が続くものと予想され、当社が属する住宅業界におきましても、新設住宅着工戸数の減少は今後も継続するものと予測されます。こうした情勢下、当社では成長戦略に掲げる非住宅分野への事業領域拡大や省施工商品の充実化に向けた施策を引き続き推進し、さらに加速化させてまいります。

内装建材事業におきましては、引き続き収益体質の早期改善に向けた取り組みの推進に加え、非住宅分野への領域拡大に向けた展開など事業の再構築に資する施策を進めてまいります。木構造事業におきましては、翌事業年度に予定する大幅な生産ライン更新に向け、生産能力向上に伴う受注拡大に向けた施策、および当該更新を軸に生産性向上を生産体制全般に亘り波及させるべく準備を進めてまいります。加えて、2024年問題を背景に物流機能の強化を図るため、期中において木造倉庫の新設を予定しており、生産ならびに物流両面を増強することで更なる事業基盤の強化を図ってまいります。

中間配当につきましては、当初の予想どおり、1株につき10円とさせていただきます。
株主の皆様には、今後とも変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。

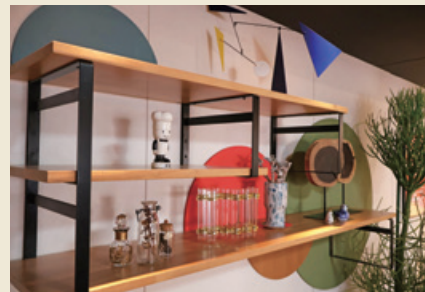
代表取締役 社長執行役員

木下浩一

トピックス

TBS系ドラマに美術協力しました

TBS系火曜ドラマ「西園寺さんは家事をしない」（2024年7月～9月放送）に美術協力を行いました。この作品のオフィスセットに、当社製品である『ひな壇階段』や『スチール製オープン手摺』、壁掛け棚の『ウォールシェルフ』が使用されました。これらの製品は、制作側の要望に応え作品の世界観に合うテイストに仕上げており、ドラマのスタイリッシュで現代的な空間を演出しました。



「ネオスマートパネル」特設サイトを開設しました

当社は、成長戦略として「省施工商品の開発・拡充」に注力しており、その一環として「ネオスマートパネル」の特設サイトを開設しました。このパネルは、工期短縮やコスト削減に貢献し、建築現場での施工効率を大幅に向上させる設計が特徴です。断熱材やサッシのカスタマイズが可能で、今後の省エネ基準にも対応しており、次世代の建築市場に向けた当社の重要な商品です。詳しくは本紙最終頁の二次元コードより特設サイトをご確認ください。



施工事例

成長戦略として注力している「非住宅」建築物の最新事例をご紹介します。

木構造 EURO-TOY（ユーロトイ）相模原店 木造躯体工事
<神奈川県>



この建物は株式会社トイファクトリー様が運営する輸入車キャンピングカーの大型ショールームです。構造躯体の木材にはカラマツ、スギ等を使用し、材料調達、加工、建て方までの木工事を当社が一貫して行いました。

内装 色麻町認定こども園 階段・すべり台・手摺
<宮城県>



幼・保連携型の保育施設として設立されたこども園に、ヒノキ集成材を使った階段・すべり台と、スギ集成材を使った格子手摺を納めました。木材の持つ自然な色味や木目を活かし、木に囲まれた遊び心のある大空間を演出しています。

IR活動強化への取り組み



名証IRエキスポ2024に出展しました

9月6日・7日に名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2024」に出展し、多くの投資家の皆様にお立ち寄りいただきました。社長自ら事業内容や成長戦略についてプレゼンを行い、当社へのご理解を深めていただく場となりました。今後もIRイベントへの積極的な参加と、ホームページの更なる充実化を通じて、株主の皆様との対話を重視し、持続的な企業成長に向けた取り組みを強化してまいります。

投資家の皆様からのご質問・ご意見

「名証IRエキスポ2024」では、投資家の皆様から多くのご質問・ご意見を頂戴いたしました。その中でも多くの方からご質問いただきました内容をご紹介します。

Q. 為替の影響は？

A. 当社は資材の多くを海外から輸入しているため、円安により収益に大きな影響を受けます。このため、主要株主との連携や現地サプライヤーとの交渉を通じ、資材コスト低減に努めています。

Q. 木材需要の現状は？

A. 戸建て住宅の需要が低迷している一方、非住宅向けの木材需要はSDGsの流れもあり高まっています。また、現状非住宅の木造比率は8%程度に留まっているため、成長分野として認識し施策を進めています。

Q. PBRの現状について

A. 当社のPBRは現在0.3~0.4倍と、満足と言える評価には至っておりません。住宅市場の縮小に対する懸念、成長戦略のアピール不足などが要因と考えています。今後もイベントや様々な機会を通じて積極的にPRするとともに、成長戦略を着実に実行してまいります。

Q. 成長戦略は？

プレゼン資料にてご説明いたしました。詳しくは下記二次元コードよりアクセスしてご覧ください。



プレゼン資料 (PDF)

https://www.seven-gr.co.jp/data/ckfinder/files/irexpo2024_setsumeikai.pdf

ホームページ「成長戦略」

<https://www.seven-gr.co.jp/ir/management.php>



● 配当についてのご意見

配当利回りの高さが長期保有の魅力とされ、配当水準の維持を望む声が多く寄せられました。

● IRについてのご意見

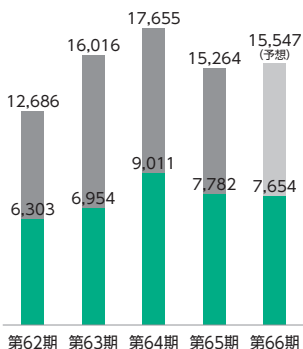
プレゼン用に用いた資料や社長の説明がわかりやすいとの評価を多数いただきました。また、成長戦略に関するIRの強化を求めるご意見もいただきましたので、今後のIR活動に活かしてまいります。

業績ハイライト

売上高

76億54百万円

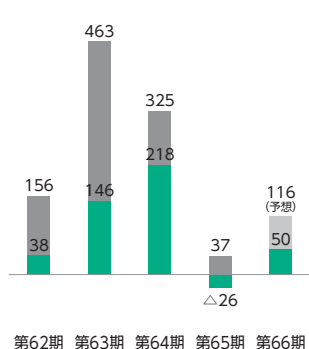
■ 通期 ■ 中間 (単位: 百万円)



営業利益

50百万円

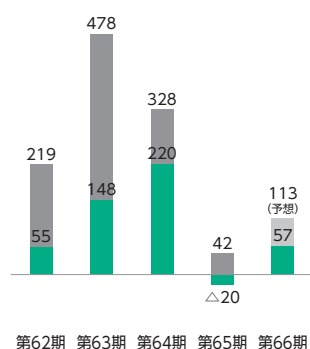
■ 通期 ■ 中間 (単位: 百万円)



経常利益

57百万円

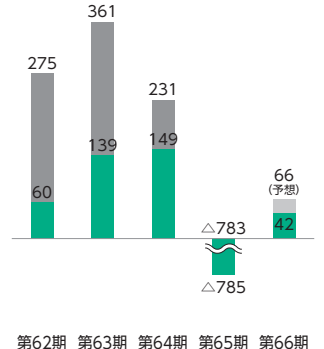
■ 通期 ■ 中間 (単位: 百万円)



当期 (中間) 純利益

42百万円

■ 通期 ■ 中間 (単位: 百万円)



アンケートご協力をお願い

株主の皆さまの
声をお聞かせください

コエキク



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 7896N584



スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェーブ
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp

ホームページのご案内



セブン工業

<https://www.seven-gr.co.jp/>



→ IR情報トップ

<https://www.seven-gr.co.jp/ir/>



→ ネオスマートパネル特設サイト

<https://www.seven-gr.co.jp/neo/>



Instagram



YouTube



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
(インターネット ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/ agency/

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社では手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

上場証券取引所 東京証券取引所・名古屋証券取引所

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL

<https://www.seven-gr.co.jp/ir/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

seven セブン工業株式会社

〒505-0016
岐阜県美濃加茂市牧野1006番地
電話 (0574) 28-7800 (代表)

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

